

『日本の諸地域』 編

# 新しい「日本の諸地域」学習のあり方

竹内裕一（千葉大学教育学部教授）

## 1 「日本の諸地域」における地誌学習

新学習指導要領『解説』では、「日本の諸地域」を地誌学習と位置づけている。その取り扱いが、地域における地理的諸事象を自然環境・人口・産業……というように網羅的、並列的に取り上げる地誌学習（静態的地誌学習）ではなく、当該地域を特色づける地理的諸事象を中核として、それを他の事象と有機的に関連づけることにより、動的に地域的特色を明らかにする地誌学習（動態的地誌学習）であるとしている。

## 2 動態的地誌学習の問題点と限界性

しかし、動態的地誌学習は実践するには難解な授業理論である。「日本の諸地域」を動態的地誌学習として実践するためには、その問題点と限界性を十分に理解しておく必要があるだろう。

その第1は、動態地誌は地域的特色が明確な地域では有効であるが、任意の地域について同じ方法を用いて記述をしたとしても成功するとは限らないという点である。例えば、明確な地域的特色を見いだせないような地域の場合、逆に特化した要素が多数存在するような場合などは、動態地誌を描くには困難が予想される。

第2は、地域的特色を特定する際の判断基準を何に求めるのかという問題である。動態地誌を記述しようとする、その地域において何がもっとも重要な要素であるのかを判断しなければならない。その判断基準を何に求めるのか。ややもすれば、その判断は便宜的かつ主観的なものになる危険性をはらんでいる。

第3は、地域を構成する要素と中核となるテーマの関係性に内在する問題である。地域的特色を表すテーマを導き出すには、地域を構成する個別

の要素を理解し、その関係性を俯瞰したうえで、もっとも適切なテーマを設定しなければならない。しかし、新学習指導要領では7つの中核テーマが予め提示されており、テーマを選定する過程とテーマと地域の関係性の説明が全くない。さらに、7つの中核テーマを7地方区分に対応させて無理矢理当てはめようとする、適切ではない中核テーマで学習せざるをえない地域が出てきてしまうだろう。これでは地域的特色を明らかにするという地誌学習の本質を欠落させてしまう恐れが十分にある。

第4は、漏れ落ちる要素の問題である。特定のテーマを中核に地域を記述する動態地誌の手法では、当然のことながら取り扱われない要素が出てくる。例えば、日本全体の農業生産の動向を考察したい場合、地域によって取り上げる要素が異なると、地域比較や一般化ができないという事態を招くことになる。

以上のように問題点を整理してみると、動態的地誌学習を実践するには、地域に関する幅広く深い知識、地域構成要素間の総合的構造的な理解、高度な授業構成力が求められることがわかる。

## 3 学習過程を重視する動態的地誌学習

今次の改訂では、「世界の諸地域」及び「日本の諸地域」いずれの学習においても「地域構成の学習→全体を大観する学習→諸地域の地域的特色を学ぶ学習→調べ学習」という内容構成をとっている。これは、基礎的な知識や概念・技能を習得し、それらを活用して学習を深め、さらに自ら課題を設定して探究するという「習得・活用・探究」の学習過程を基軸に構成したものである。この学習過程は諸地域学習部分においても用いられてお

り、『解説』「ウ 日本の諸地域」の学習展開例では、＜地域の特色を示す地理的事象を見いだす段階＞、＜中核とした事柄を他の事象と関連づけて追究する段階＞、＜追究の過程や結果を表現する段階＞という3つの学習段階が提示されている。

こうした学習過程への着目は、現代を生きる生徒たちには単に知識や概念・技能を習得するだけでなく、それらをもとにして現代社会を読み解き、自ら積極的に社会と関わっていく「能動的な学力」の獲得が求められているという背景があるからである。すなわち、新学習指導要領では、動態的地誌学習こそが「能動的な学力」を獲得することができる地誌学習であるという立場に立っている。そのため、動態的地誌学習では、「習得・活用・探究」という学習過程とセットになって実践されることが重要であり、この点が従来の地誌学習と決定的に異なっている点である。筆者は「習得・活用・探究」という学習過程を学習段階として固定的に捉えることには反対であるが、学習過程に着目して地誌学習を構想するという点に関しては大いに評価してよいと思っている。

しかし、「能動的な学力」の獲得を目指した学習過程を組織することは決して易しいことではない。前述のように、教師には今まで以上に広く深い地域理解と高い授業構成能力が求められる。そして、何よりも生徒たちが中核テーマを自らの問題として捉えることができなければ、そのような学習過程は成立しない。地理的見方・考え方、学び方の習得を目ざした現行学習指導要領が空中分解してしまった現実を目の当たりにし、理念先行型の動態的地誌学習の行く末を案ずるのは筆者だけではあるまい。

#### 4 動態的日本地誌学習のあり方

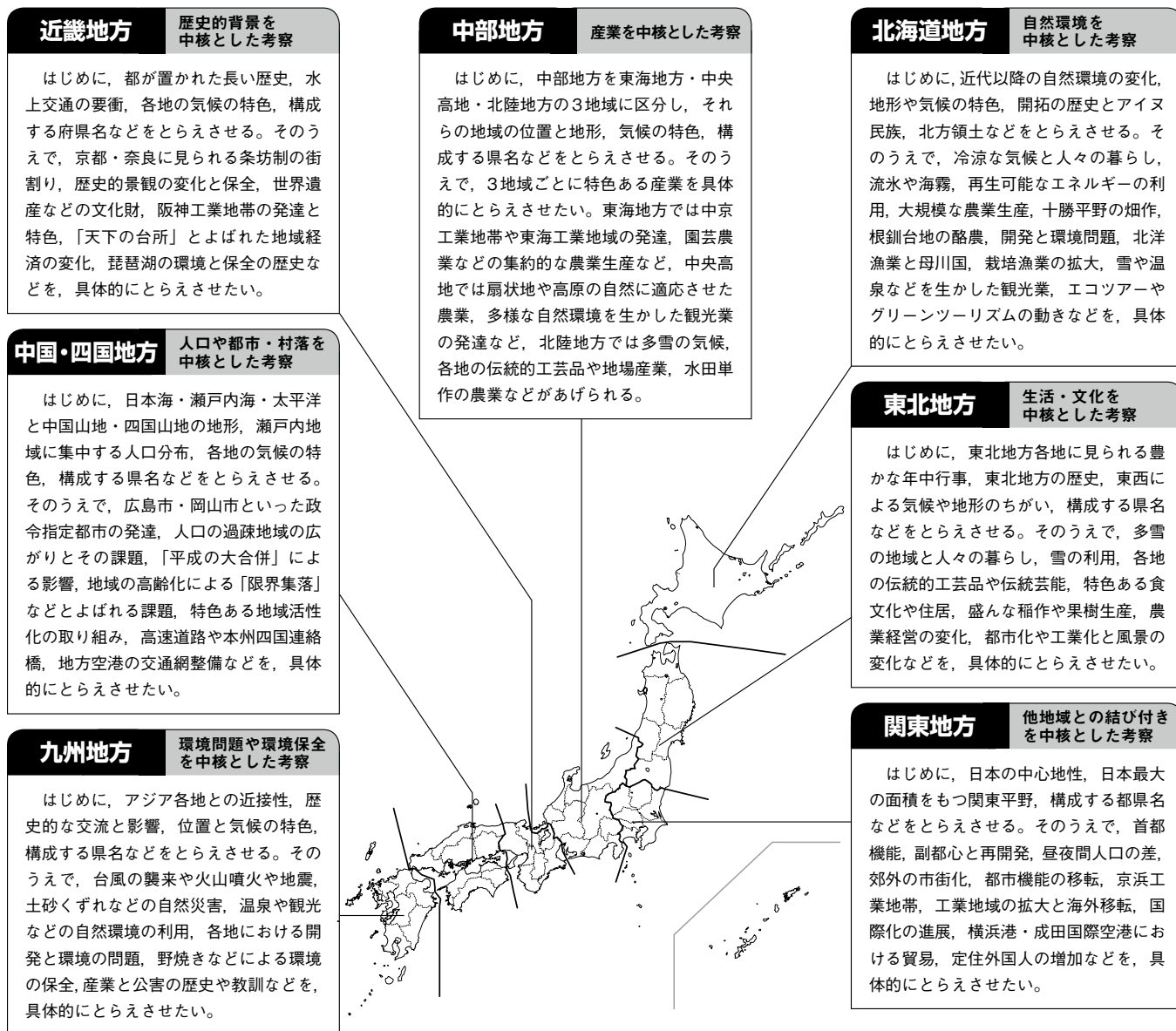
それでは、動態的地誌学習の長所を生かし、問題点や限界性を克服するにはどのような授業を構想すべきなのか。

その第1は、「日本の諸地域」において設定さ

れている7つの中核テーマを生徒たちの生活実感や問題意識とリンクして授業化することである。今次の改訂では、改正教育基本法の「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」を受けて、「エ 身近な地域の調査」の中で、社会参画の視点を取り入れた調べ学習を行うことが目指されている。身近な地域学習における社会参画の視点の導入は、生徒たちが地理学習を通して学んだ地理的事象を単なる知識として獲得するだけではなく、実際の社会生活において生きて働く学力へとつなげていくことが求められているからに他ならない。前述のように、生徒たちがそのような「能動的な学力」を獲得するには、学習課題を自分のこととして捉えることが不可欠である。したがって、7つの中核テーマを取り扱う場合には、単元の導入部分において身近な地域問題や生徒たちの興味・関心を引くような社会事象を取りあげて学習課題を設定し、単元を通して中核テーマを多面的多角的に追究できるような授業を構想したい。

第2は、個別と全体との関係を常に意識した授業構成を心掛ける点である。授業時数が限られている学校教育において、地誌学習は本来的に個別事象や事例地域の学習を通してしか成立しない。とりわけ、動態的地誌学習では、中核テーマにかかわる地理的事象や特定地域しか取り扱わないことになる。そうなると、ややもすれば個別の事象や地域に深く入り込んでしまい、全体の構造や他地域とのつながりを見いだせなくなってしまう危険性がある。まさに「木を見て森を見ない」状態に陥りがちなのである。こうした状況を克服するには、学習対象である個別事象を他の事象と比較したり、個別地域を日本や世界の動向の中で位置づけてみるという学習過程が必要となる。換言すれば、個別事象と他の個別事象、個別地域と全体地域の間で往還的思考をらせん状に積み重ねることにより、全体の構造理解が進み、当該地域の地域的特色がより明確になるのである。

# 日本の諸地域の「中核テーマ」の設定について



## 1 地域区分について

『学習指導要領』では、「指導の観点や学校所在地の事情などを考慮して適切に決めること」とあるように、特定の地域区分を例示せず、学校現場の教師の裁量としている。その一方で、中核テーマという観点に対して、「考察の仕方については、学習する地域ごとに一つずつ選択すること。またウの学習全体を通してすべて取り扱うこと。」とあるように、運用にあたっての拘束をかけている。地域区分それ自体は便宜的なものにすぎない。しかし、社会的に認知され普及している点、小学校社会科との関連性、とりわけ平成元年版学習指導要領までの指導の実態を踏まえると、伝統的な七地方区分を採用するのが妥当であろう。そもそも中核テーマがなぜ7つであるのか、という素朴な疑問に対して『学習指導要領解説』には明確な説明はない。しかし、本ワークシートでは上記の理由から、七地方区分を採用した。この地域区分は、明治時代の国定教科書に採用されて以来のものであり、例えば東海地方として三重県を扱う場合のように、現代における区分の有効性や妥当性の点で注意されたい。

## 2 各地方と「中核テーマ」について

各地方と考察する「中核テーマ」の組み合わせについては、『学習指導要領解説』に北海道地方と中部地方が例示されている。本ワークシートでは、先に述べたように平成元年版学習指導要領までの指導の実態を踏まえ、上図のとおりの方と中核テーマの組み合わせとした。各ワークシートには、子どもたちの既得知識と学習の便宜に配慮して文章記述を配置したが、紙面の制約もあり、地域の理解には十分なものではない。実際の指導では、地図帳をはじめ、その他さまざまな統計類や資料集、百科事典、新聞記事、インターネットなどを積極的に参照させたい。「世界の諸地域」単位と同様に、指導する側の教師自身が日本の諸地域に関心を高め、歴史的分野・公民的分野との関連を図りつつ、地域の情勢変化や最新の動向を認識しておく必要があることはいうまでもない。

# 学習ワークシートの解答例

## 1 九州地方

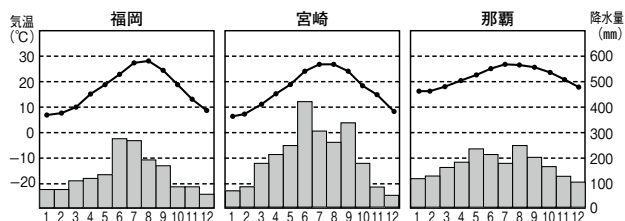
① 九州地方のあらし…………… p.56

課題 1 ① 400 ② 210 ③ 860 ④ 420

課題 2 ① 筑紫 ②九州 ③ 筑紫 ④ 筑後

⑤ 球磨 ⑥ 有明 ⑦ 屋久

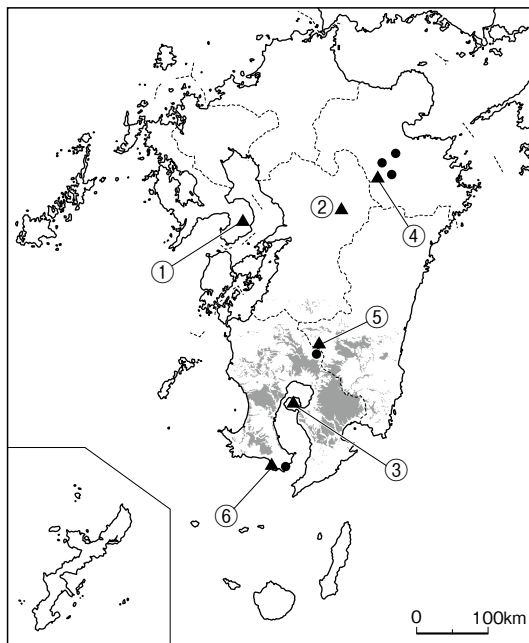
課題 3



・(例) 福岡は、3都市の中で最も降水量が少ない。特に秋から冬にかけて少なくなっている。宮崎は福岡よりも温暖で、降水量も多い。特に夏から秋にかけての降水量は3都市中最も多い。那覇は3都市中最も温暖であり、特に冬の気温が高い。降水量は一年を通して多めである。

② 火山と農業…………… p.57

課題 1



課題 2 地熱

課題 3 利点：(例) 美しい風景が観光地となり、温泉などの保養地には多くの人が集まる。

不利な点：(例) 噴火による災害が発生したり、火山灰などが農作物に被害を与える。

課題 4 (例) シラスは火山灰からなる白い砂状の土壌で、水を含むと崩れやすい。また、水もちが悪いために稲作には向いていない。主に鹿児島県を中心として、火山の周辺

に分布し、台地を形成している。

課題 5 (例) 畜産業が盛んであるが、これは火山灰性の土壌(シラス)が稲作に向かないため、土地改良やかんがい施設の整備を行い、家畜のえさである飼料作物の栽培が可能になったためである。

③ 工業の生産と公害…………… p.58

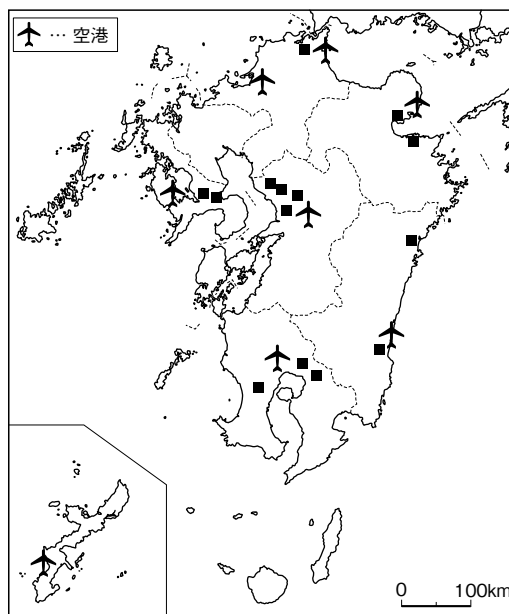
課題 1 ① 八幡 ② 筑豊 ③ 中国

④ エネルギー ⑤ オーストラリア ⑥ 大消費地

⑦ 大気汚染 ⑧ 水質汚濁

課題 2 (例) 鉄鋼業が衰退し、それに代わる工業として、自動車工場を誘致したため。経済発展の著しい中国に近いことが有利である。

課題 3



・(例) 集積回路は軽くて高価なため、航空機輸送が主な輸送手段だから。

課題 4 (例) 家庭や事業所から出る廃棄物を、リサイクル・リユースすることで、他の産業分野で再び利用可能にし、結果的に自治体全体でゴミをなくしていこうとする環境対策である。

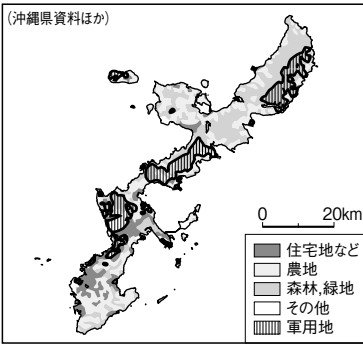
④ 南西諸島の自然環境と暮らし…………… p.59

課題 1 (例) 首里城など琉球王国に関する歴史的なもの。紅型、三線、琉球ガラス、琉球舞踊、鳥唄などの伝統文化。さんご礁をはじめとする亜熱帯の自然。

課題 2 (例) 第三次産業で働く人の割合が多い。理由として、観光産業が発達し、ホテルやレストラン、観光施設で働く人が多いことがあげられる。また、アメリカ軍基地で働く人が多いのも特徴である。

課題 3 (例) 本州では栽培できない熱帯性の作物(さとうきび、パイナップル、マンゴーなど)が栽培できる。

課題 4



・(例) 沖縄島の多くの部分がアメリカ軍の軍用地となっている。市街地と接しているものもあり、住民の生活に、アメリカ軍が大きな影響を与えていることがわかる。

⑤ 九州地方のまとめ p.60

- 課題 1 ① 北九州, 八幡 ② 福岡, 出先  
 ③ 筑紫, クリーク ④ 有明, 干潟 ⑤ 長崎, 出島  
 ⑥ 阿蘇, カルデラ ⑦ 八代, たたみ表 ⑧ 水俣, 有機水銀  
 ⑨ 宮崎, 促成 ⑩ 那覇, 琉球

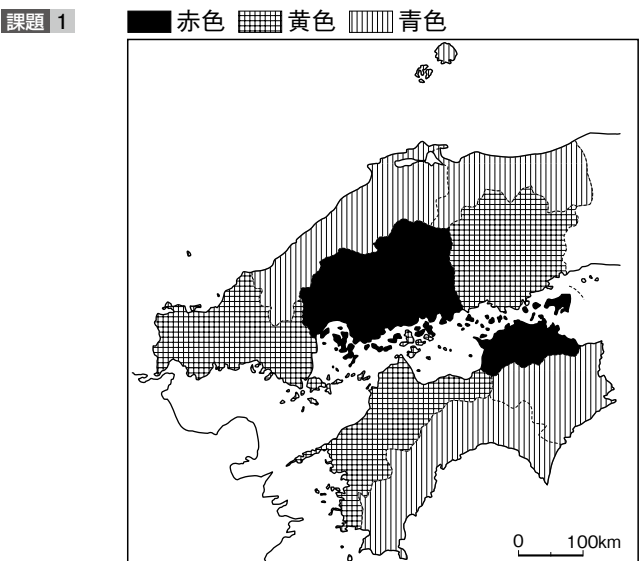
## 2 中国・四国地方

① 中国・四国地方のあらまし p.62

- 課題 1 A 隠岐 B 中 C 宍道 D 中国  
 E 太田 F 讃岐 G 吉野 H 四国  
 I 四万十 J 足摺 K 室戸  
 ア 鳥取県, 鳥取市 イ 島根県, 松江市 ウ 岡山県, 岡山市  
 エ 広島県, 広島市 オ 山口県, 山口市  
 カ 香川県, 高松市 キ 愛媛県, 松山市  
 ク 徳島県, 徳島市 ケ 高知県, 高崎市

課題 2 X: ㉠ Y: ㉡ Z: ㉢  
 X地点: (例) 冬の降水量が多い。  
 Y地点: (例) 降水量が一年を通して少ない。  
 Z地点: (例) 夏から秋にかけての降水量が非常に多い。冬の気温も他の地点と比べて高めである。

② 人口分布と広島市の歩み p.63



- 課題 2 B  
 課題 3 ① ○ ② ○ ③ × ④ ○

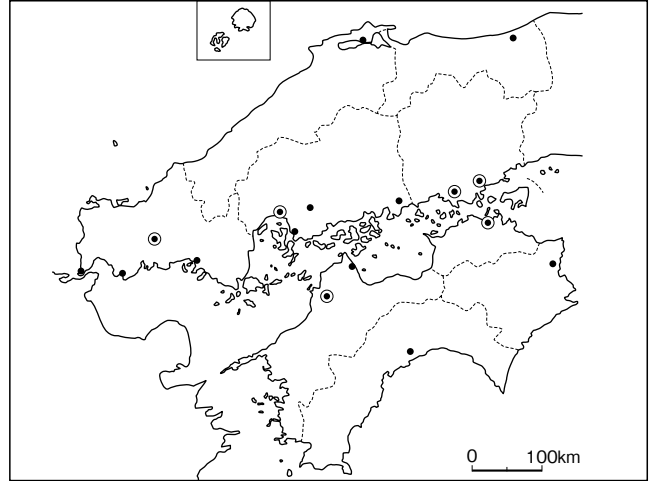
⑤ ○

課題 4 (例) 交通渋滞の緩和や、二酸化炭素排出の削減のためにも、路面電車はこれからもぜひ存続してほしい。

③ 瀬戸内海と人口の集中する地域 p.64

課題 1 (下図 黒丸部分) 課題 2 (下図 赤丸部分)

● 黒丸 ○ 赤丸



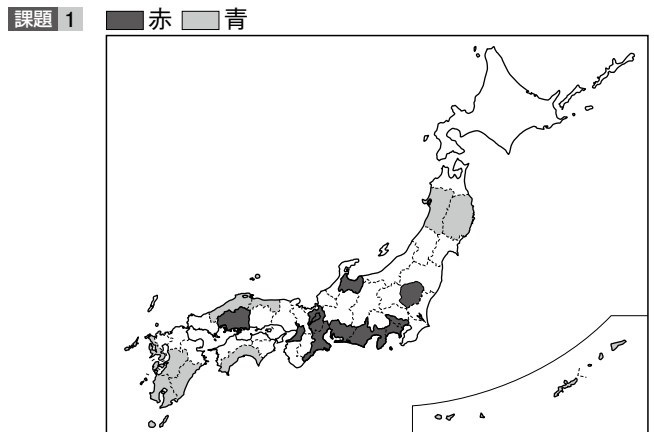
課題 3 (例) 人口が増加している都市は、瀬戸内海沿岸に集中している。

課題 4 倉敷市: (例) 石油化学工業 広島市: (例) 機械(自動車)工業

④ 人口の少ない地域と地域の動き p.65

- 課題 1 日本海側と太平洋側  
 課題 2 ① 阪神 ② 林業 ③ エネルギー  
 ④ 価格 ⑤ 自由 ⑥ 耕作 ⑦ 産業  
 ⑧ 高齢  
 課題 3 (例) ・医療費や福祉関連費が増えるので、自治体の財政が苦しくなり、行政サービスが縮小する。  
 ・路線バスや鉄道が廃止され、高齢者の移動手段がなくなる。  
 ・農地の維持管理がされなくなり、荒地になる。  
 ・コミュニティ活動が困難になり、地域社会が維持できなくなる。  
 ・地域に伝わる伝統文化が失われる。

⑤ 中国・四国地方のまとめ p.66





課題 2 ウ, エ

課題 3 (例) 料理の煮炊きや風呂などは, まきを使っていたが, 40年ほど前に家を建て直したときにプロパンガスにした。

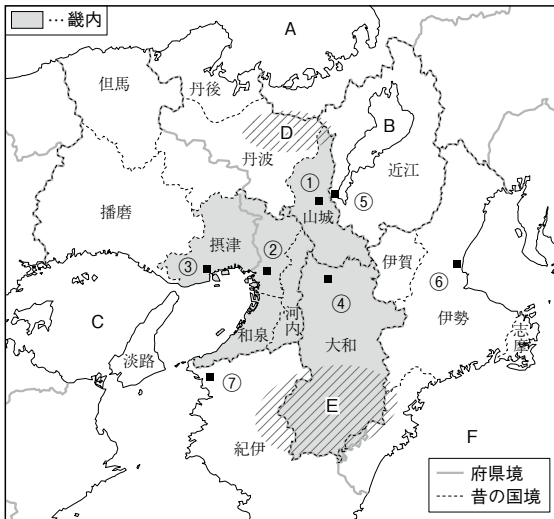
課題 4 (例) 高知県馬路村では, 特産のゆずを使った食品や飲料を製作し, 地元で販売したり, 都市部のアンテナショップで販売している。

### 3 近畿地方

① 近畿地方のあらし p.68

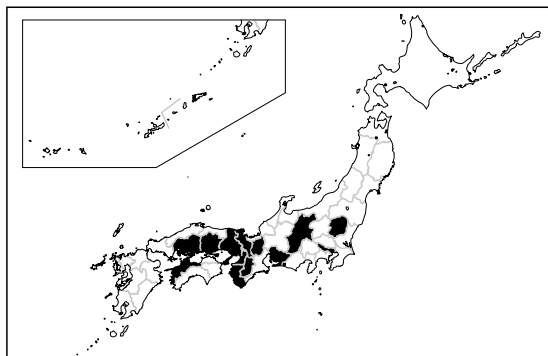
- 課題 1 ① 京都府, 京都市 ② 大阪府, 大阪市  
 ③ 兵庫県, 神戸市 ④ 奈良県, 奈良市 ⑤ 滋賀県, 大津市 ⑥ 三重県, 津市 ⑦ 和歌山県, 和歌山市

課題 2



- 課題 3 A 日本 B 琵琶 C 瀬戸内  
 D 丹波 E 紀伊 F 太平

課題 4



② 京都・奈良の伝統的な景観 p.69

- 課題 1 ① ア ② イ ③ エ ④ ウ  
 ⑤ オ ⑥ カ

課題 2 京都: 11月, 5月, 4月 奈良: 5月, 11月, 3月

課題 3 京都: (例) 西陣織, 京友禅, 清水焼 奈良: (例) 奈良墨, 奈良筆

課題 4 (例) 建物の高さやデザイン, 色彩などが制限さ

れている。また, 野外広告も規制されている。

③ 工業のあゆみ p.70

- 課題 1 A イ B オ C エ D ア  
 E ウ

課題 2 太平洋ベルト

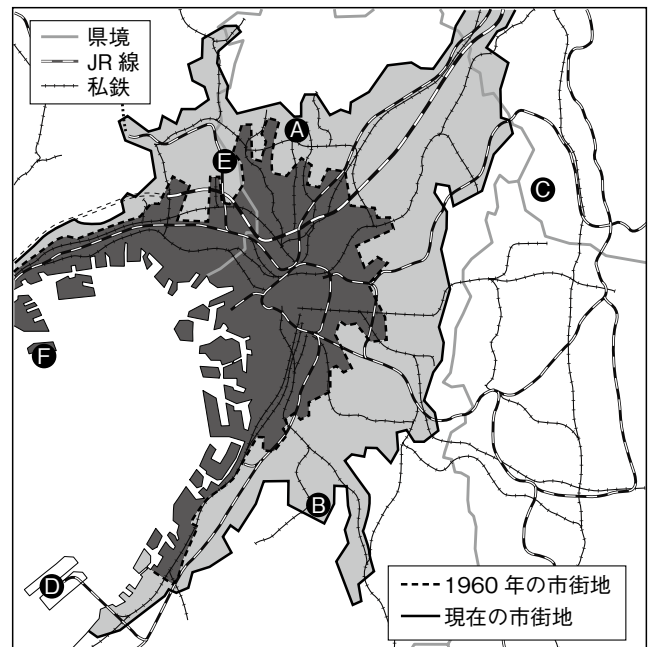
課題 3 (例) 従業員が1~29人の小規模な工場の割合が全国に比べて多い。主な工業製品は金属製品, 生産用機械器具, プラスチック製品, 鉄鋼などである。

④ 経済活動の変化 p.71

- 課題 1 ① A 千里ニュータウン  
 B 泉北ニュータウン C 関西文化学術研究都市  
 D 関西国際空港 E 大阪国際空港 F 神戸空港

② (省略)

③ 1960年: 下図 現在: 下図



課題 2 (例) 近畿地方では, JR以外の私鉄も大阪市を中心に放射線状に発達している。市街地は, その鉄道に沿って郊外に広がった。

課題 3 (例) 近畿圏の経済活動は活発になっているが, 全国に占める割合は小さくなっている。卸売・小売業, 金融・保険業では, 首都圏への一極集中が, 近畿圏の地位低下をまねいている。

⑤ 近畿地方のまとめ p.72

- 課題 1 ① 瀬戸内 ② 琵琶 ③ 紀伊  
 ④ 丹波 ⑤ 日本 ⑥ 太平 ⑦ 京都  
 ⑧ 大阪 ⑨ 奈良 ⑩ 神戸 ⑪ 大津  
 ⑫ 和歌山 ⑬ 津 ⑭ 阪神 ⑮ 関西国際  
 ⑯ 大阪国際 ⑰ 神戸 ⑱ 千里 ⑲ 泉北  
 ⑳ 関西文化学術研究

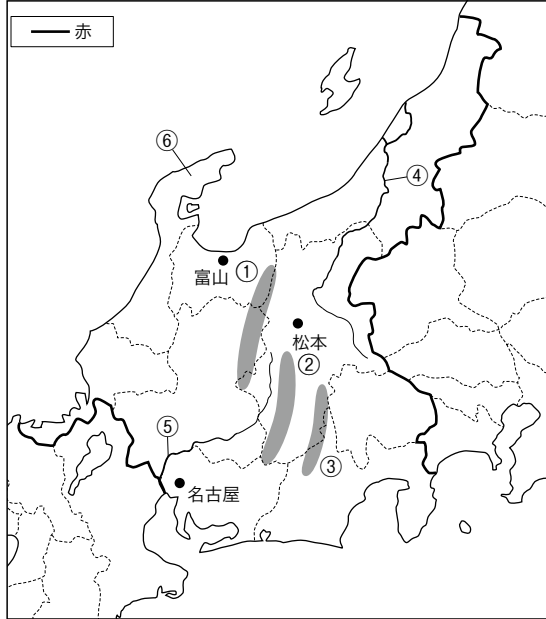
課題 2 (例) 貿易額は, 輸入に比べて, 輸出の方が多くなっている。相手先としては, 輸出入ともにアジア, 特に

東アジアと東南アジアの国や地域の占める割合が高い。

## 4 中部地方

### ① 中部地方のあらまし…………… p.74

**課題 1**



- 課題 2** ① 飛騨 ② 木曾 ③ 赤石 ④ 信濃  
⑤ 木曾 ⑥ 能登

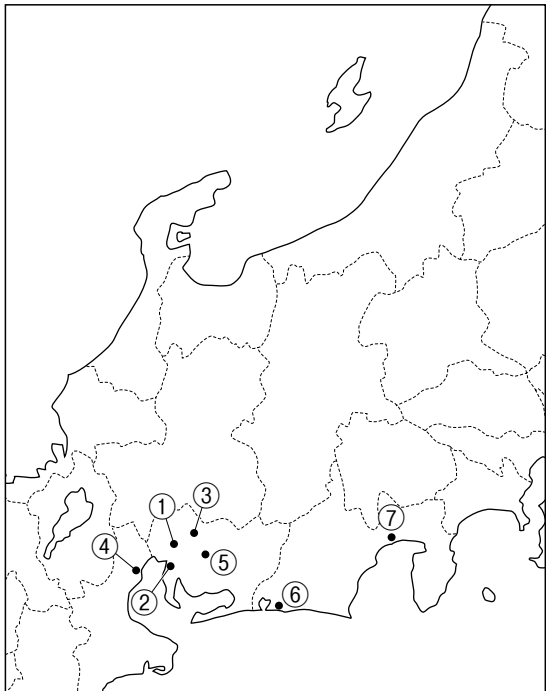
**課題 3** 山梨県, 甲府市 石川県, 金沢市 愛知県, 名古屋市

**課題 4** 名古屋：イ 富山：ウ 松本：ア

**課題 5** (例) 名古屋は9月の降水量に特色があり, 台風の影響だと思われる。富山は, 冬期の降水量の多さに特色がある。松本は, 1年を通じて降水量が少なく, 気温も低めであるのが特色である。

### ② 自動車産業と工業地域…………… p.75

**課題 1**



**課題 2** (例) 主な工業地帯や工業地域の中で, 最も出荷額が多い地帯の一つであり, 機械工業に特化している。

**課題 3** (例) 中国などからの輸入製品に押されて, 製造工場自体が少なくなっている。付加価値がついた高級品をみざすなど, 産業全体の変革が求められている。

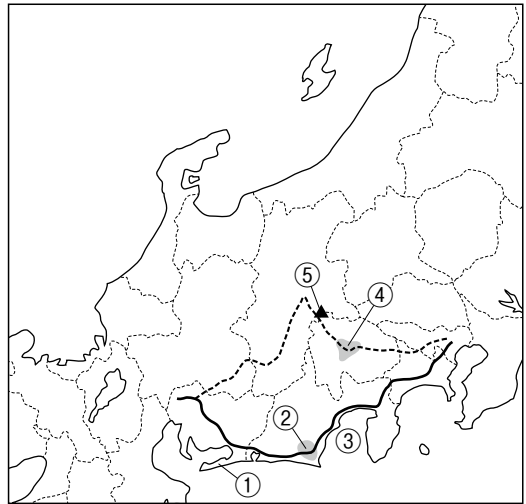
### ③ 東海地方・中央高地の第一次産業…………… p.76

- 課題 1** ① ぶどう ② みかん ③ 茶  
④ もも

**課題 2** (例) 温室でのメロン栽培や, 電照菊の栽培が特徴的である。また, ビニルハウスを用いたトマトやみつばなどの促成栽培が行われている。

- 課題 3** ① 渥美 ② 牧ノ原 ③ 駿河  
④ 甲府 ⑤ ハケ

— 青 ——— 赤



### ④ 北陸地方の伝統産業…………… p.77

- 課題 1** ① 洋食器 ② 小千谷ちぢみ ③ 高岡銅器  
④ 輪島塗 ⑤ 加賀友禅 ⑥ 九谷焼  
⑦ 山中漆器 ⑧ 眼鏡フレーム ⑨ 越前和紙

**課題 2** (例) 金箔そのものを食品や化粧品に加工したり, 金箔を打つ技術を美容用品などに応用している。

**課題 3** (例) 米作の特色: 広い平野と豊富な水を利用した, 大規模な水田単作地帯が特色である。  
新しい産業: 戦後, 黒部ダムの発電を利用したアルミニウム加工や化学工業が盛んになった。

### ⑤ 中部地方のまとめ…………… p.78

- 課題 1** ① 信濃 ② 飛騨 ③ 松本 ④ 中京  
**課題 2** A 北陸 B 中央高地 C 東海  
**課題 3** ① 自動車 ② 製鉄業 ③ ファインセラミックス  
④ 菊 ⑤ 茶 ⑥ ぶどう  
⑦ 野菜 ⑧ 単作 ⑨ 伝統産業 ⑩ アルミニウム



## 5 関東地方

### ① 関東地方のあらまし…………… p.80

- 課題 1 ① 群馬, 前橋 ② 栃木, 宇都宮  
 ③ 茨城, 水戸 ④ 埼玉, さいたま ⑤ 東京  
 ⑥ 神奈川, 横浜 ⑦ 千葉, 千葉  
 課題 2 A 越後 B 浅間 C 利根 D 房総  
 課題 3 エ

### ② 日本の首都 東京…………… p.81

- 課題 1 A ⑦ B ⑧ C ⑤ D ①  
 E ④ F ② G ⑥ H ③  
 課題 2 (例) 港湾施設や工場, 商業施設や住宅などの用地を造成するため, 人工的に埋め立てられたから。  
 課題 3 (例) 23区内に高層マンションが多く立つようになり, 通勤や日常生活に便利さを求める人々が住むようになってきたから。

### ③ 東京大都市圏と交通網…………… p.82

- 課題 1 ① 東京大都市圏 ② 衛星都市 ③ ドーナツ化現象 ④ 多摩ニュータウン  
 課題 2 (例) 50歳代とその子どもの世代の人口が多く, 30~40歳代前半と10歳以下の人口が少ない。これは, はじめに郊外住宅地に入居した30歳代の人々がそのまま住み続けた結果であり, 地域の高齢化がみられる。  
 課題 3 (例) 千代田区, 中央区などは昼間人口が多い反面, 周辺の都市では夜間人口が多いため, ベットタウン化していることが読み取れる。

### ④ 関東地方と世界の結び付き…………… p.83

- 課題 1 (例) 東京周辺や大都市部などに多い。特に東京都は非常に多い。  
 課題 2 (例) 臨海部に立地している。外国から原料を輸入するため, 港に近い場所だと輸送コストがかからないから。  
 課題 3 ア, b

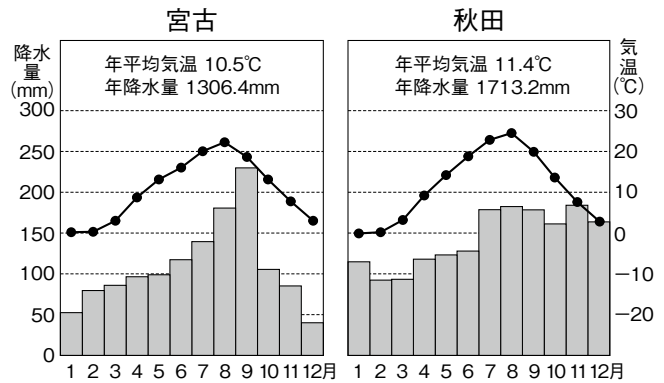
### ⑤ 関東地方のまとめ…………… p.84

- 課題 1 ① a 利根 b 越後 ② ア 成田国際空港 イ 東京国際空港 ウ 横浜港  
 課題 2 ① 関東ローマ層 ② からっ風 ③ 副都心  
 ④ 東京大都市圏 ⑤ ニュータウン ⑥ ドーナツ化現象 ⑦ 衛星都市 ⑧ 京浜工業地帯  
 課題 3 (例) 問題点としては, 通勤・通学時間帯の電車の混雑があげられる。解決策としては, 出社・登校時間に差を設けることなどが考えられる。

## 6 東北地方

### ① 東北地方のあらまし…………… p.86

- 課題 1 国: (例) スペイン, トルコ, イタリア  
 ギリシャ 都市: (例) ペキン  
 課題 2 (例) 他県に比べて, 人口密度や第三次産業の割合が高いことから, 東北6県の中では最も経済が発展し, 中心都市となっていることがわかる。  
 課題 3



- 課題 4 (例) 年平均気温や夏の気温は, 日本海側が高い。これは太平洋側は寒流の千島海流が流れているので, 気温が上がりにくいためである。降水量は, 日本海側が多い。これは, 冬の降水量が, 降雪などで多くなるためである。

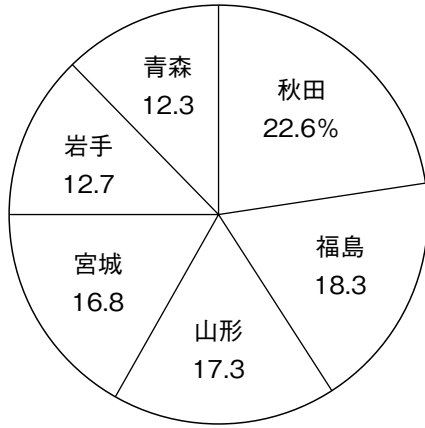
### ② 伝統的行事と人々の暮らし…………… p.87

- 課題 1 ア ④ イ ② ウ ⑥ エ ⑦  
 オ ⑧ カ ① キ ⑤ ク ③  
 課題 2 (例) 農作物の豊作や大漁, 人々の健康を願うため。近年では, 住民の連帯感を高めるためや, 観光資源として利用するため。  
 課題 3 ア 岩手 イ 青森 ウ 秋田 エ 福島  
 オ 山形  
 課題 4 (例) 農業ができない冬の期間が長いので, 室内で身近な材料を使って, 生活用品や, 現金に換えられるものをつくっていたから。  
 課題 5 (例) 農業の機械化が進んでいない時代, 馬は大変重要な家畜だったので家族同様に扱われ, この地域では特に大事にされていたため。

### ③ 稲作農家の暮らし…………… p.88

- 課題 1 (例) 東北地方の太平洋岸で夏に吹く北東風で, 寒流である千島海流の上を通るため, 気温の低下や濃霧を発生させ, 稲の生長に大きな打撃を与える。  
 課題 2 (例) 保温折衷苗代やビニルハウスを利用して, 収穫時期を早めたり, 強い稲に育てたりする。  
 課題 3 (例) コシヒカリ, ひとめぼれ, あきたこまち など

課題 4



課題 5 (例) 食生活の変化に伴い、米の消費量が減少しているため、米以外のものを生産したり、同じ米でも付加価値の高いものを生産しなくてはならなくなったこと。

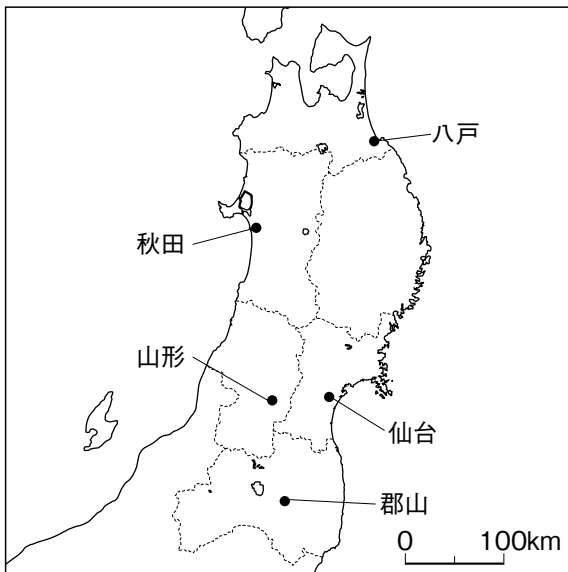
④ 工業化と暮らしの変化 p.89

課題 1 (例) 高速道路、新幹線など東京と短時間で結べる交通機関の近くにある点。

課題 2 (例) 輸送の便がよいため。

課題 3 (例) 農業以外の安定した収入源ができ、出稼ぎが減った。

課題 4 東京-郡山：1時間21分 東京-仙台：2時間10分 東京-秋田：4時間35分 東京-山形：2時間45分 東京-八戸：3時間21分



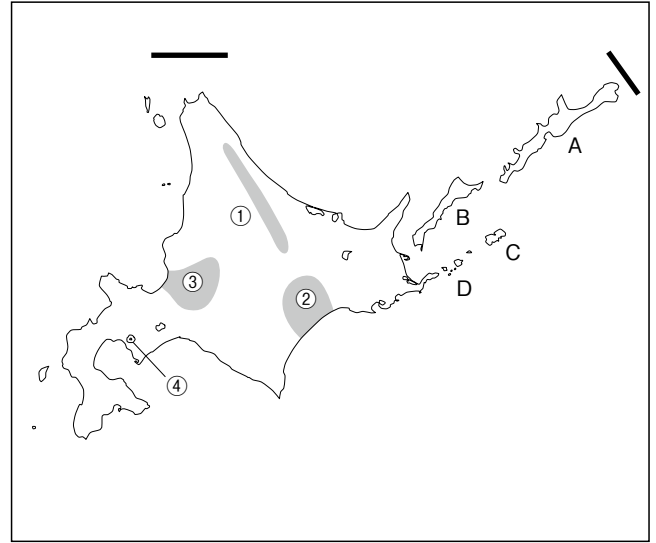
⑤ 東北地方のまとめ p.90

- 課題 1 ① 青函, 津軽 ② 三内丸山, 縄文  
 ③ 弘前, 津軽 ④ 十和田 ⑤ 白神, 世界遺産  
 ⑥ 八郎潟, 干拓 ⑦ リアス, 津波  
 ⑧ 平泉, 藤原 ⑨ 気仙沼, 潮目 ⑩ 仙台  
 ⑪ 山形 ⑫ 庄内

7 北海道地方

① 北海道地方のあらまし p.92

- 課題 1 ① 北見 ② 十勝 ③ 石狩 ④ 洞爺  
 課題 2



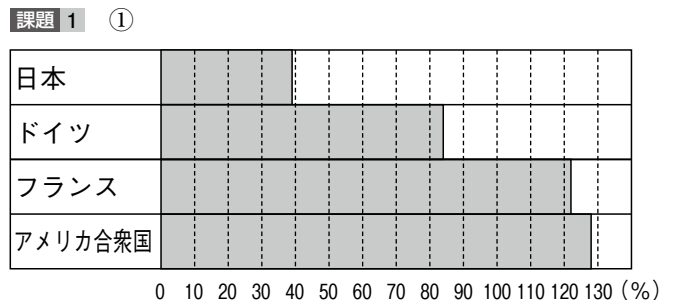
課題 3 A 択捉 B 国後 C 色丹 D 歯舞

課題 4 (例) 全体的に広葉樹林が少なくなり、混交林に変わった。十勝平野や根釧台地では、広い範囲で広葉樹林が畑に変わった。札幌や旭川などの都市が現れた。

② 寒冷な気候の特徴 p.93

- 課題 1 (例) 内陸部にある。  
 課題 2 ① 千島 ② 千島海流(親潮) ③ 日本海流(黒潮) ④ オホーツク  
 課題 3 ① オホーツク ② ロシア連邦 ③ サハラリン ④ カムチャツカ

③ 大規模な農業生産 p.94



② (例) アメリカ合衆国では巨大な農業生産が行われ、ヨーロッパ連合(EU)では加盟国内での農業保護政策が行われているから。

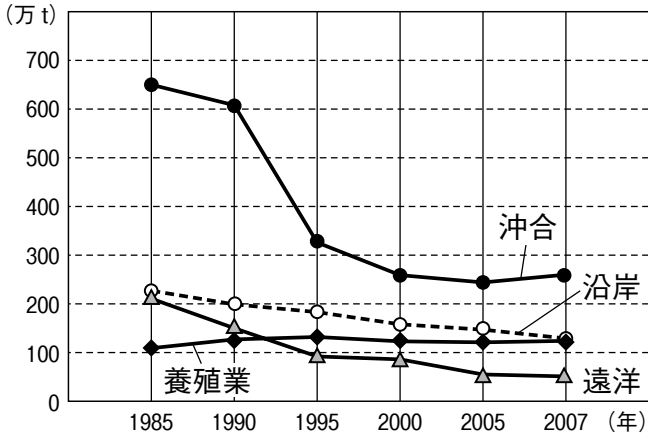
③ (例) 安い海外産の米が輸入されるようになり、主に加工用として使用されるようになったから。

課題 2 耕地面積 25 販売農家数 3

課題 3 ① 三日月 ② 信濃 ③ 利根

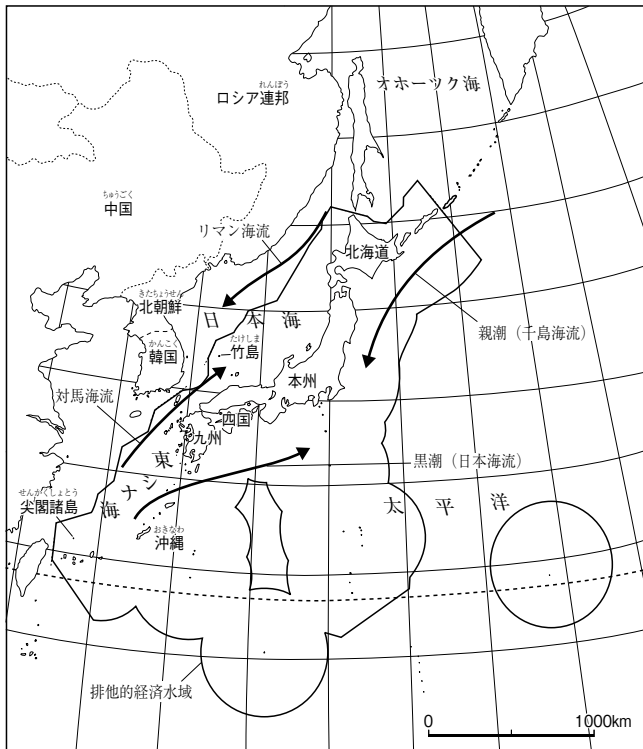
④ 豊かな水産資源と漁業 p.95

課題 1



要因：(例) 遠洋漁業と沖合漁業が減少しているのは、排他的経済水域が設定されたため。沿岸漁業が減少しているのは、乱獲や環境悪化によって魚自体がとれなくなってきたため。養殖業が増加しているのは、技術が向上し、おいしいものが安く提供できるようになったため。

課題 2



⑤ 北海道地方のまとめ p.96

- 課題 1
- ① 択捉    ② 国後    ③ 色丹    ④ 歯舞
  - ⑤ 北見    ⑥ 天塩    ⑦ 日高    ⑧ 大雪
  - ⑨ 有珠    ⑩ 知床    ⑪ 天塩    ⑫ 石狩
  - ⑬ 十勝    ⑭ サロマ    ⑮ 釧路    ⑯ 洞爺
  - ⑰ 稚内    ⑱ 紋別    ⑲ 根室    ⑳ 釧路
  - ㉑ 帯広    ㉒ 留萌    ㉓ 旭川    ㉔ 札幌
  - ㉕ 室蘭    ㉖ 函館



平 24 中 教授資料  
中学社会 地理的分野  
「世界の諸地域」・「日本の諸地域」学習ワークシート

発行／2011 年 2 月  
編集／教育出版株式会社 編集部  
発行所／教育出版株式会社

---

|       |  |
|-------|--|
| 本 社   | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10<br>Tel :03-3238-6862 fax : 03-3238-6887<br>ホームページ : <a href="http://www.kyoiku-shuppan.co.jp">http://www.kyoiku-shuppan.co.jp</a><br>E-Mail : <a href="mailto:edit-info@kyoiku-shuppan.co.jp">edit-info@kyoiku-shuppan.co.jp</a> |
| 北海道支社 | 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F<br>TEL : 011-231-3445 FAX : 011-231-3509   |
| 函館営業所 | 〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一生命ビルディング 3F<br>TEL : 0138-51-0886 FAX : 0138-31-0198   |
| 東北支社  | 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F<br>TEL : 022-227-0391 FAX : 022-227-0395  |
| 中部支社  | 〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F<br>TEL : 052-262-0821 FAX : 052-262-0825  |
| 関西支社  | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F<br>TEL : 06-6261-9221 FAX : 06-6261-9401   |
| 中国支社  | 〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F<br>TEL : 082-249-6033 FAX : 082-249-6040   |
| 四国支社  | 〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F<br>TEL : 089-943-7193 FAX : 089-943-7134  |
| 九州支社  | 〒810-0001 福岡市中央区天神 2-8-49 ヒューリック福岡ビル 8F<br>TEL : 092-781-2861 FAX : 092-781-2863   |
| 沖縄営業所 | 〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F<br>TEL : 098-859-1411 FAX : 098-859-1411   |

---